

教育概論Ⅱ(中高)－1

担当：鵜殿篤

<http://meganeCulture.boon.jp/2019/09/19/gairon2/>



▼語学・心カ・教福・服美・表現 9/21

▼栄養・環教 9/24

■授業の目的と評価

- ・この授業の最終的な目的は、「教育課程」とは何か？を理解することです。
- ・教員採用試験に関しては、必ず出題される『学習指導要領』について理解します。
- ・評価は、期末テストと提出課題によって行います。出席が足りていない者には受験を認めません。
- ・100分の復習と100分の予習を前提として授業を構成します。
- ・出席は、基本的に **manaba** を利用します。スマホが使えない者は、紙媒体等で出席を取るのので、授業後すみやかに申し出てください。
- ・質問は、120周年記念館11階1110室まで。あるいは「教えて！せんせい」にどうぞ。



■課題

- ・中学校の「教育課程」を一つ完成させることを目指します。
- ・教育課程を作るためには、基礎的な知識がたくさん必要になります。各授業でひとつひとつの知識を定着させながら、すこしずつ教育課程を作っていきます。
- ・最終的に教育課程が完成したら、書類にして体裁を整え、提出してください。
- ・コンピュータによる提出を想定しています。

■教科書

『中学校学習指導要領(平成29年告示)』および『中学校学習指導要領解説 総則編』を手に入れておいてください。

文部科学省のWEBサイトから無料で手に入れることもできますし、本として購入することもできます。



http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/05/07/1384661_5_4.pdf

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_001.pdf

■manaba授業登録

スマホで出席をとる準備として、各自、この授業を自己登録してください。「コースを検索して登録」のページで、以下のコードを入力してください。

▼土曜1限(語学・心カ・教福)：講義(コース)コード3119

▼土曜2限(服美・表現)：講義(コース)コード2203

▼火曜5限(栄養・環教)：講義(コース)コード1720

■教育課程とは何か

- ・一般的には、学校の目的を達成するための「計画」のことです。
- ・「計画→実行→評価→改善」というプロセスを回します。PDCA サイクル。
- ・C(評価)とA(改善)が、今後特に重要になってきます。

目的について

- ・まず「目的」をしっかり掴まなければ、計画を立てることなどできません。
- ・日本の教育の目的は、教育基本法第1条に明記されています。
- ・ただし、「学校」の教育目的は、専門特化する場合があります。
- ・他の組織や施設にはない「学校」に特有の目的とは、「学力」をつけることかもしれません。(知徳体の「徳」と「体」については改めて考える機会を設けます)

学力とは何か？

- ・「学力」とはどのような力でしょうか？
 - ・これまでの人生経験を踏まえて、「学力」とは何か、考えよう。
- ※周りの人と相談したり、インターネットで検索してもよろしいです。



- ・文部科学省は、学力を「学校教育法」第30条で定義しています。
 - ・他にもいろんな人がいろんなことを言っています。
- 詳しくは「学力とは何か」をご参照下さい。



・つまり学校の仕事が「学力をつける」ことだとしても、「学力」をどう考えるかによって、実際の学校の仕事の中身が変わってきます。教育課程を設計する際、まず「学力とは何か？」についてしっかりと考えておく必要があります。

『学習指導要領』とは何か？

- ・文部科学省が発行している文書です。全編にわたって採用試験に出題されます。
- ・ほぼ10年に1回のペースで改訂されています。変遷が採用試験に出てしまいます。
- ・最新版は2017年に発行されました。世間的には、小学3年から外国語活動とか、プログラミング教育の導入というところが注目されました。
- ・教育課程の大綱(おおざっぱな枠組み)が示されている文書です。
- ・法的拘束力があるようです。
- ・各教育委員会や各学校は、基本的に学習指導要領に従って、教育課程を編成します。
- ・しかし最近では、学習指導要領に従わなくてもよい抜け道がたくさん用意されています。(教育特区制など)
- ・とはいえ、日本が全体的に目指す教育の方向性は、学習指導要領に示されています。

■来週までにやっておく作業

- ・自分が教育課程を作る学校の名称を決めましょう。
- ・学校の所在地を決めましょう。都道府県一市町村一地域
- ・学校の種別を決めましょう。「公立／私立／国立」「小中一貫／中高一貫」

